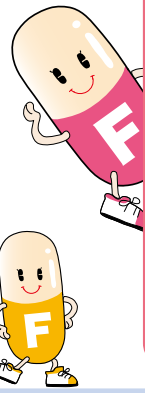


# POWER!



2026年  
4月  
vol. 96  
令和8年(2026年)  
4月20日発行  
発行所 ●日本薬剤師連盟  
〒160-0004  
東京都新宿区四谷4-3  
四谷トーセイビル2階  
TEL (03) 3225-3100  
FAX (03) 3225-3200  
発行月 ●4月、7月、10月、1月

<https://www.yakuren.jp>

## ●日本薬剤師連盟四役一覧(令和8~9年度)



●会 長  
岩月 進  
(愛知県)



●幹事長  
川田 哲  
(神奈川県)



●副会長  
大澤 泰輔  
(兵庫県)



●副会長  
原口 亨  
(福岡県)



●副会長  
丹羽 松弘  
(愛知県)



●副会長  
加茂 雅行  
(宮城県)



●副幹事長  
浜田 嘉則  
(高知県)



●副幹事長  
小屋敷 淳子  
(山口県)

# 令和8・9年度 会長及び監事が決定!!

## 会長就任にあたって

日本薬剤師連盟 会長 岩月 進

令和7年度定時評議員会において、二期目の会長にお認めをいただきまして、岩月進でございます。

さて、日本薬剤師連盟会則第1条には、日本薬剤師連盟は、会員相互の全国的協力により日本薬剤師会の目的を達成すること、その他薬事・薬業の振興に必要な政治活動を行うことを目的とする、とあります。日本薬剤師会の目的は多岐にわたりますが、その根底を為すものは昭和48年制定の「薬剤師綱領」や平成30年制定の「薬剤師行動規範」に示されたとおりであります。改めて申し上げるまでもなく、我々

薬剤師の仕事は、薬剤師の免許を使って広く世間に貢献し、その成果を正しく理解してもらい、さらにはその評価が薬剤師の適正な処遇に結び付くことであろうと思います。

従って、薬剤師連盟の活動内容は、上記の目的達成のための政治活動の計画と実施、政治活動をより強固にするための薬剤師国会議員の擁立とその選挙対応、さらには、地方自治体の首長や地方議員の擁立とその選挙対応が挙げられると考えます。

薬剤師の免許を用いた仕事の多くは、法律や規則に縛られています。また免許というのは、文字通り、「免じて」「許す」であり、このことは規制当局の責任を「免じて」、薬剤師が「責任」を負うことを「許す」を表しています。ICT

化やDX化の進展とともに、専門職の在り方やそのサービス提供の在り方も大きく変わっていく時代がやって来ました。

人口減少社会や人口構成の変化など、これからの日本社会は多種多様な減少局面に入っております。このような社会においても、医薬品提供体制を維持し、薬剤師職能が引き続き国民に認知され、感謝される職業として生き残ってゆかなくてはなりません。

時代を見つめ、次代を想像し、薬剤師になって良かったと思える次世代の薬剤師達に先輩方が作ってこられたこの組織や活動を受け渡すべく、本連盟活動にご理解をいただける方々と共に、明るい未来に向けて、共に前に進んで行きましょう。

## 令和7年度 定時評議員会開催される!!

令和8年3月30日(月)午後1時より「令和7年度定時評議員会」がA P日本橋で開催された。

橋本常任総務の司会のもと、会議に先立ち、3月19日にご逝去された元衆議院議員で日本薬剤師連盟相談役の松本純先生を偲び、黙祷を捧げました。その後、岩月会長の挨拶に続いて、来賓として、とかしきなおみ衆議院議員、神谷まさゆき参議院議員、藤田洋司衆議院議員からご挨拶、本田あきこ参議院議員からはメッセージを頂戴した。続いて、畑澤議長、久間副議長が登壇

し、丹羽副会長より「最近の政治課題について」「次期都道府県評議員数について」など、大原副幹事長より「自民党青年局との意見交換会について」、川田幹事長より「第51回衆議院議員総選挙結果」など重要事項の経過報告が行われた。次に、報告並びに議案説明として丹羽副会長より「令和7年度会務並びに事業中間報告について」、川田幹事長より「第27回参議院議員通常選挙結果総括報告について」、丹羽副会長より「令和8年度事業計画の件」、荻野副会長より「令和8年度責任負担金賦課額、納付

率に関する件、収入支出予算、借入金最高限度額の件」、丹羽副会長より「会則改正の件」「会長選挙・監事選挙の件」について説明がなされ、質疑応答が行われた。

報告2件、議案6件が承認された後、会長及び監事の選出が行われ、会長に岩月進氏、監事に内藤貴夫氏、内野悟氏、村松章伊氏が選出された。

協議では大澤副会長より「会員増強について」説明後、質疑応答が行われ、原口副会長の閉会挨拶で散会した。

## 風力計



日本女性薬剤師連盟  
幹事長 熊倉 明子

4人で吹かせ！薬剤師に新しい風を！

この度、渡邊美知子先生から日本女性薬剤師連盟幹事長を引き継ぎました熊倉明子と申します。

亡き近藤芳子前連盟会長から叱咤激励を受け、現会長の渡邊美知子先生には現在もご指導頂いて連盟活動に参加しておりますが、今号より日本薬剤師連盟の総務として広報に参加することになりました。どうぞよろしく願っています。

昨年7月の参議院議員選挙において、本田あきこ先生が二期目の当選をされました。石井道子先生以降、長らく女性の参議院議員が不在となり、女性薬剤師を再び国政へと送り出すことは女性薬剤師連盟の悲願でした。それが継続できたことは、私としてもこの上ない喜びとなりました。

更に今回の衆議院議員総選挙では、とかしきなおみ先生が復帰当選、藤田洋司先生は現場薬剤師という立場から、直接国政へ挑まれ初当選されたという結果は、まさに快挙といえます。現職の薬剤師国会議員4名中2名が女性になり、両院に2名ずつの議員がいて互いの立場から協力できれば、薬剤師の職能向上に繋がり、ひいては国民のために活躍できると信じてやみません。

本田あきこ先生との交流を深めていく中で、人柄の良さ、そして勉強熱心でバイタリティーに溢れた活動を知る度、先生を心から応援したい気持ちが溢れてきます。4人の薬剤師議員が互いに力を合わせれば、今までに無い協力体制を敷くことが出来ることでしょうか。

そのためには、私たち薬剤師の力を結集させることが不可欠です。本田あきこ先生、神谷まさゆき先生だけでなく現職の薬剤師国会議員4人を応援し支えたいと私は考えます。立ち上げられ！今こそ4人の力で新時代を切り開け!!

# 令和7年度 都道府県薬剤師連盟 SNS担当者会議

## ～つなぎなおしミーティング～



令和8年2月1日(日)「令和7年度都道府県薬剤師連盟 SNS担当者会議」が開催された。

会議の参加者の多くは、昨年の参議院議員選挙において各都道府県のSNS担当者として活動いただいた方々であり、本会議はその活動を総括し、有効であった点、課題であった点を共有し、今後の活動方針について意見交換することを目的としたものである。

積極的な意見交換が行われたほか、実際に出了アイデアを現地で実行(投稿)するなど、SNSを日常的に活用している参加者だからその会議となった。

当日は本田あきこ参議院議員も駆けつけられ、講演の中ではご自身の活用の様子や、連盟活動や支援におけるSNSの重要性についても触れられた。



### SNS でつなげる、 #薬剤師のチカラ



### 講演



「参院選2025 SNS チームの総括」  
日本薬剤師連盟副会長 原口 亨



「薬剤師による SNS 発信について」  
KENTARON様



「日本薬剤師連盟の現状と必要性」  
日本薬剤師連盟副会長 大澤 泰輔

### スモールグループディスカッション



参院選2025  
成功事例と課題の抽出



次期選挙に向けて  
活動の明確化と目標設定



### 投稿演習



### 令和7年度薬剤師フォーラム フォローアップZoom会議



3月7日(土) 14時半より「令和7年度薬剤師フォーラムフォローアップZoom会議」がウェブにて開催された。昨年10月19日に開催された薬剤師フォーラムの参加者を対象に、薬剤師議員が必ず当選できる組織作りのための方法について、それぞれが立てた計画の進行状況、実施にあたっての問題点、日薬連盟への要望などについて事前にとったアンケートをもとにSGDを行った。



# 薬剤師国会議員 4人体制に!

令和8年2月8日に投票が行われた第51回衆議院議員総選挙において、大阪7区のとかしきなおみ氏(得票7万8582票、惜敗率89.05%)、京都2区の藤田洋司氏(得票3万6891票、惜敗率74.66%)が比例代表近畿ブロックで当選された。自民党に追い風がある中においても大変厳しい選挙戦であったが大変府薬連盟、京都府薬連盟を中心に地域の薬剤師連盟から多くの支援もあり、衆参合わせて自民党の薬剤師議員が4人体制となった。さらなる活躍が期待されるとともに、会員の皆様に一層のご支援をお願い申し上げます。

計 報

## 元衆議院議員 松本純生先生ご逝去

元衆議院議員で日本薬剤師連盟相談役の松本純生氏が、3月19日にご逝去されました。享年76歳。



### オレンジ日記

参議院議員・薬剤師 本田顕子



#### 令和8年度にあたり

春らしい穏やかな気候に心が和み、徐々に新緑色が映える季節となりました。高市内閣の下、現下の経済情勢の下での物価高騰・賃上げ対策を確実に実行し、「強い経済」を実現する上で重要な令和8年度予算は、3月30日に可決成立した令和8年度暫定予算によって国・自治体における予算上の空白を生じさせることなく、4月7日に可決成立するに至りました。

一般会計総額として約122兆3,100億円が計上された令和8年度予算において、社会保障関係費は対前年度比で約7,600億円増の約39兆560億円となりました。その中で公定価格制度の下にある医療・介護等の分野に関しては、実質的な伸びを高齢化による増加分に抑える「従来型」の対応にとどまることなく、診療報酬(調剤報酬を含む)改定における今後の物価・賃上げ対応や、介護報酬改定、障害福祉サービス等報酬改定における現場で働く方々の処遇改善など、各現場での経済・物価動向等を踏まえた対応に要する相当分を上乗せすることができました。

令和8年度予算が執行段階に入ると、国会では政府提出法案の審議が本格化し、政権与党内では年末の次年度(令和9年度)予算編成に向けて重要な「足場」となる「骨太方針」の党内外での動きが加速します。

予算委員会での予算審議と同様、厚生労働委員会において、薬剤師や薬業界に関係が深い健康保険法等の一部改正法案をはじめ厚生労働関連の法案審議に取り組むとともに、次の「骨太方針」の策定にあたっては、薬剤師連盟の皆様と4名の薬剤師議員とで情報共有と議論を重ねながら、薬剤師や薬業界を取り巻く課題解決と健全な発展につながる政策の実現に向けて皆様の声をしっかりと届けてまいります。

### 政幸だより

参議院議員・薬剤師 神谷政幸



#### 若者の自殺と指定濫用防止医薬品の指定

政府は「令和7年版自殺対策白書」を令和7年10月24日に閣議決定し、公表しました。「自殺対策白書」は自殺対策基本法に基づいて、我が国の自殺の概況や自殺対策の実施状況を取りまとめた年次報告書です。令和6年の状況を記した令和7年版では、第2章で「若者の自殺をめぐる状況」について特集しています。国内全体の自殺者数が減少傾向にあるなかでも、小中高生の自殺者数が過去最多水準となり、10代・20代の自殺者数も高止まりが続いていることを踏まえ、15歳～29歳の若者を対象にさまざまな視点から自殺の状況を分析しています。自殺の手段について若年女性は、男性や女性(全年齢)に比して「服毒(医薬品)」の割合が高く、若者の自殺未遂の手段で、最も多いものは過量服薬とされています。

若者によるいわゆるオーバードーズは社会問題化しており、特にデキストロメトルファンについては、令和7年5月13日の参議院厚生労働委員会において、濫用の実態も踏まえて指定対象の見直しを検討すべきではないかと厚生労働省の考えを質しました。

令和8年1月23日に開催された令和7年度第3回薬事審議会医薬品等安全対策部会において、これまでの6成分(エフェドリン、コデイン、ジヒドロコデイン、プロモバルビル尿素、プソイドエフェドリン、メチルエフェドリン)に新たにデキストロメトルファンとジフェンヒドラミンの2成分を加え合計8成分が指定濫用防止医薬品に指定されることが決定され、本年5月1日から施行されます。また濫用実態を踏まえ、現時点ではトローチ剤を含めた外用剤は指定対象外とし、今後の実態状況により見直しを検討することとされています。市販薬の濫用防止対策に取り組むご活動を、しっかりと応援してまいります。

### 編集後記

#### 行きつけの喫茶店

みなさんは行きつけの喫茶店はありますか。私は名古屋の生まれの名古屋育ちです。名古屋には昔から喫茶店文化がありました。必ず行きつけの喫茶店があり、ほぼ毎日ランチをしたりお茶したり、知り合いが来れば喫茶店に行つて話をする。日常生活に喫茶店がありました。喫茶店は地域のコミュニティでした。店の人やお客さん達と知り合いになりいつも情報交換をして、何かあればみんなでお節介もしました。時代は昭和・平成、令和と進み喫茶店も変わり、そういう喫茶店も少なくなりました。

個人情報保護、多様性、スマホ、コンプライアンス等、必要以外はあまり人と会話をしない人が増えてきているからでしょうか。また挨拶をしない人も増えてきています。

昔こんな標語がありました。「挨拶は心を開く魔法のことば」。私は今でもこれを実践しています。薬局を始めたときに「毎朝、店の周りの掃き掃除をしているときにすれ違う人にはしっかりと挨拶をしない。歩いていくのは遠くに住んでいる人ではなく近所に住んでいる人だから。」と父に言われました。それを実践したら確かにお客様が増えました。

私はこれからも挨拶でもコミュニケーションを広げ、昔の行きつけの喫茶店のように堅苦しくなく何でも話ができる薬局の薬剤師になりたいと思っています。

● 広報委員

- 原口 亨、丹羽 松弘
- 浜田 嘉則、橋本 昌子
- 和泉啓司郎、熊倉 明子
- 小屋敷淳子、山原 大輝

(M・N)